



京阪ホールディングス株式会社

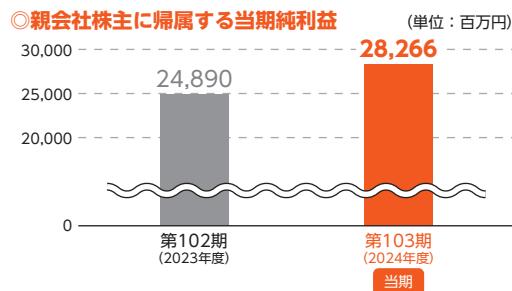
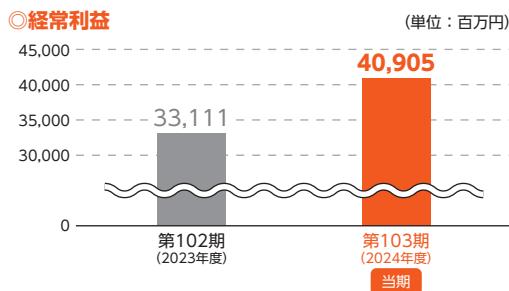
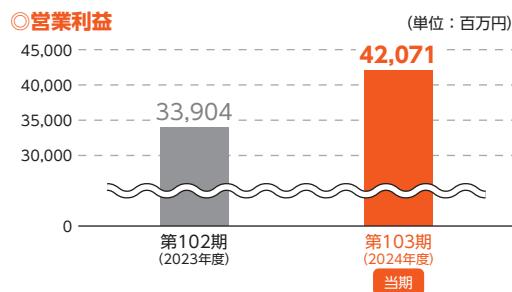
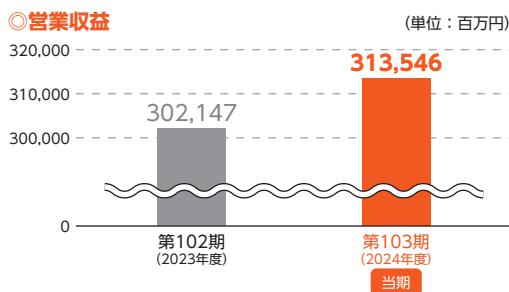
# 第103期 株主通信

(2024年4月1日－2025年3月31日)

## 2024年度の連結業績およびセグメント別の概況

当連結会計年度のわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移いたしましたが、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響やアメリカの政策動向による影響など、今後の景気を下押しするリスク要因もあり、依然として不確実性の高い状況が続いております。

このような経済情勢のもとにおきまして、当社グループでは、各事業にわたり積極的な営業活動をおこなって、業績の向上に努めました結果、当連結会計年度の営業収益は3,135億4千6百万円（前期比113億9千8百万円、3.8%増）、営業利益は420億7千1百万円（前期比81億6千6百万円、24.1%増）となり、これに営業外損益を加減した経常利益は409億5百万円（前期比77億9千4百万円、23.5%増）となりました。さらに、これに特別損益を加減し、法人税等および非支配株主に帰属する当期純利益を控除した親会社株主に帰属する当期純利益は282億6千6百万円と、前期に比較して33億7千6百万円（13.6%）の増益となりました。



## 運輸業

●営業収益	913億8千1百万円（前期比2.6%増）
●営業利益	123億2千3百万円（前期比33.8%増）

鉄軌道事業におきましては、京阪電気鉄道(株)において、一層の安全性の向上を図るべく、京阪線全車両への車内防犯カメラの設置を加速したほか、鉄道駅バリアフリー料金制度の活用により守口市駅2・3番線、萱島駅2・3番線ホームに可動式ホーム柵を設置して使用を開始いたしました。また、一層のサービス向上を図るため、QRコードを活用したデジタル乗車券のサービス「スルッとQRtto（クルット）」を導入し、現在の交通系ICカードを含めた京阪線のキャッシュレス決済比率は94%に達しております。さらに、CO<sub>2</sub>排出量削減に向けた取組みとして、旧型車両から省エネルギー車両である13000系車両への置換を推進いたしました。なお、今後も安全で安心な旅客輸送サービスを提供するため、京阪線および大津線旅客運賃の変更認可申請をおこない、本年3月25日、国土交通大臣より認可を受けました。これにより、本年10月1日より運賃改定を実施いたします。

バス運送業におきましても、引き続き安全で安心な輸送サービスを提供するため、京阪京都交通(株)、京都バス(株)、京阪バス(株)において、それぞれ運賃改定を実施いたしました。

これらの結果、運輸業全体の営業収益は913億8千1百万円（前期比23億3千4百万円、2.6%増）、営業利益は123億2千3百万円（前期比31億1千5百万円、33.8%増）となりました。

※「QRコード」は(株)デンソーウェーブの登録商標です。

※「スルッとQRtto」は(株)スルッとKANSAIの登録商標です。



省エネルギー車両13000系



萱島駅可動式ホーム柵

## 不動産業

●営業収益 1,390億9千4百万円（前期比0.2%増）

●営業利益 223億4千2百万円（前期比10.8%増）

当社グループがかねてより参画してまいりました「枚方市駅周辺地区第一種市街地再開発事業」について、5月31日、枚方市駅直結の複合施設「ステーションヒル枚方」が竣工し、6月1日より賃貸タワーレジデンス「THE TOWER HIRAKATA」およびオフィスの入居を順次開始するとともに、6月30日にはホテルが開業いたしました。また、「淀屋橋駅東地区都市再生事業」についても、本年5月にはランドマークビルとなる複合施設「YODOYABASHI Station One（淀屋橋ステーションワン）」が竣工、6月からは商業ゾーンの店舗を順次オープン予定であるなど、引き続き全面開業に向けた取組みを推進してまいります。

不動産販売業におきましては、「京阪東ローズタウン」「南草津プリムタウン」などの土地建物を販売いたしました。また、マンションでは、「ザ・ファインタワー大阪肥後橋」「ザ・ファインタワー ウエストコースト」などのほか、関西圏以外におきましても積極的な事業展開に努め、「ファインシティ大宮公園」「ザ・ファインタワー久屋大通」などを販売いたしました。

不動産賃貸業におきましては、更なる事業の拡大・強化をめざし、7月1日に賃貸ビル「京阪成田ビル（本年2月1日付名称変更）」（千葉県成田市）を、10月1日に「京阪仙台一番町ビル（本年4月1日付名称変更）」（宮城県仙台市）を、11月22日に「京阪藤沢ビル（本年5月1日付名称変更）」（神奈川県藤沢市）をそれぞれ取得いたしました。

これらの結果、不動産業全体の営業収益は1,390億9千4百万円（前期比2億3千3百万円、0.2%増）、営業利益は223億4千2百万円（前期比21億7千1百万円、10.8%増）となりました。



ステーションヒル枚方

（左：ホテル・オフィス棟、右：THE TOWER HIRAKATA）



YODOYABASHI Station One

（完成イメージ）

## 流通業

- 営業収益 570億5千9百万円（前期比6.8%増）
- 営業利益 28億4千6百万円（前期比2.7%増）

ショッピングモールの経営におきましては、9月6日、枚方市駅と一体となった商業施設「枚方モール」を開業いたしました。また、同モール内では、(株)京阪百貨店においてセミセルフ式の化粧品セレクトショップ「ナナイロ ポーテ」を含む5店舗を展開するほか、(株)京阪ザ・ストアにおいてサステナブルマーケットをコンセプトとした「THE STORE 枚方モール店」を出店するなど、新業態の店舗を積極的に展開し、収益力の強化を図りました。

ストア業におきましては、オリジナル商品の開発加速、品質保持やコスト削減による安定した商品供給体制の確立を図るべく、「フレスト」「THE STORE」および「もより市」計26店舗の商品の一部を製造するプロセスセンター（東大阪市）の運用を11月15日より開始いたしました。また、兵庫県初となる「SWEETS BOX 地下鉄三宮店」を出店するなど、積極的な店舗展開に努めました。

これらの結果、流通業全体の営業収益は570億5千9百万円（前期比36億1千9百万円、6.8%増）、営業利益は28億4千6百万円（前期比7千4百万円、2.7%増）となりました。



ナナイロ ポーテ



THE STORE 枚方モール店

## レジャー・サービス業

●営業収益	399億7千8百万円（前期比14.3%増）
●営業利益	49億1千6百万円（前期比50.5%増）

ホテル業におきましては、旺盛なインバウンド需要および国内旅行需要の更なる取り込みを図るべく、各種営業活動を積極的に推進いたしましたほか、「ホテル京阪ユニバーサル・タワー」において、お子さま連れのご家族やグループでご利用のお客さまにも安心してくつろいでいただける客室とすべく、前期より順次進めてきた計641室の客室リニューアルを完了いたしました。また、4月23日、「琵琶湖ホテル」内のレストラン「イタリアンダイニング ベルラーゴ」について、出来立てのイタリア料理をお楽しみいただけるビュッフェレストランとしてリニューアルオープンするなど、一層の競争力強化と施設の魅力向上に努めました。

これらの結果、レジャー・サービス業全体の営業収益は399億7千8百万円（前期比50億2百万円、14.3%増）、営業利益は49億1千6百万円（前期比16億5千万円、50.5%増）となりました。



ホテル京阪ユニバーサル・タワー  
スーベリアルーム



琵琶湖ホテル  
「イタリアンダイニング ベルラーゴ」

## その他の事業

●営業収益	51億6千7百万円（前期比12.9%増）
●営業利益	6千8百万円

その他の事業におきましては、(株)ビオスタイルが運営する複合型商業施設「GOOD NATURE STATION」のオリジナルスイーツブランド「RAU」が、12月13日、ショッパエリアを拡大してリニューアルオープンし、20種類以上の新商品の発売を開始いたしました。また、同施設内のヴィーガンフレンドリーレストラン「Hyssop（ヒソップ）」が、植栽などのインテリアやメニューを新たにブラッシュアップオープンするなど、積極的な営業活動と施設の魅力向上に努めました。

これらの結果、その他の事業全体の営業収益は51億6千7百万円（前期比5億8千9百万円、12.9%増）、営業利益は6千8百万円（前期は8億3千7百万円の営業損失）となりました。



RAU パティスリーエリア



Hyssop（ヒソップ）

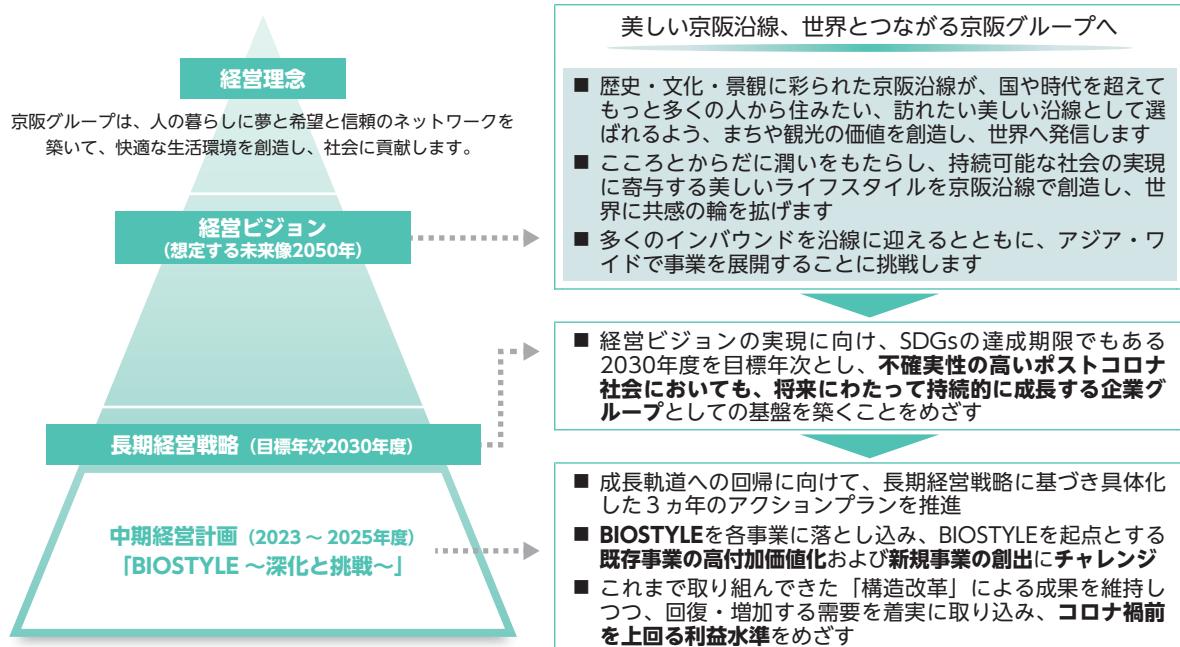
## 京阪グループ 長期経営戦略・中期経営計画

当社グループでは、激変する将来の経営環境においても、当社グループが持続的な成長を続けるために、「価値創造」と「グローバル展開」に挑戦する、2050年を見据えた経営ビジョン「美しい京阪沿線、世界とつながる京阪グループへ」を策定しております。

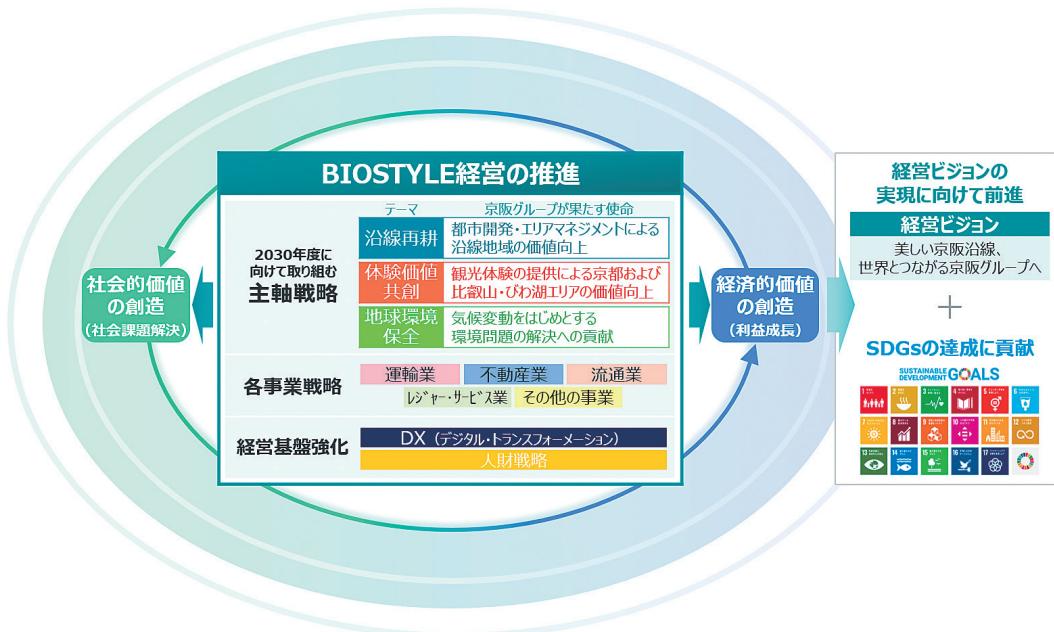
当社グループは、この経営ビジョンのもと、京阪沿線が、もっと多くの人から住みたい、訪れたい美しい沿線として選ばれるよう、まちや観光の価値を創造し世界へ発信するとともに、持続可能な社会の実現に寄与するライフスタイルを創造し世界に共感の輪を拡げ、沿線を基盤にアジア・ワイドで事業を展開することに挑戦いたします。

また、経営ビジョン実現に向け、2030年度を目標年次とした長期経営戦略を定め、将来にわたって持続的に成長する企業グループとしての基盤を築くことをめざすとともに、この長期経営戦略に基づく3カ年の具体的な取組みとして、中期経営計画「BIOSTYLE～深化と挑戦～」(2023～2025年度)を策定し取り組んでおります。

(京阪グループ長期戦略構想 (2023年度～))



(長期経営戦略の全体像)



長期経営戦略および中期経営計画の概略は、次のとおりであります。

## 1. 基本方針

持続可能な循環型社会の実現に向けて、「社会的価値と経済的価値を両輪で創造する『BIOSTYLE経営』の推進」をテーマとして、主軸戦略「沿線再耕」「体験価値共創」「地球環境保全」、各事業戦略、経営基盤強化に取り組みます。中期経営計画の3ヵ年では「BIOSTYLE～深化と挑戦～」を掲げ、BIOSTYLEを起点とする既存事業の高付加価値化および新規事業の創出にチャレンジしてまいります。

## 2. 主軸戦略

### (1) 「沿線再耕」

駅を拠点として、地域の歴史・文化・産業などの特色を活かした都市開発や地域と連携したエリアマネジメントを推進し、これらを交通ネットワークで結ぶことで、魅力あふれる美しい沿線を再生、沿線地域の価値向上および居住・来訪者の拡大を図ります。

重点施策として、「大阪東西軸復権とえきから始まるまちづくり」を掲げ、「淀屋橋駅東地区都市再生事業」の推進や、開業した「中之島4丁目未来医療国際拠点整備事業」などにより大阪の国際競争力と魅力の向上に資するまちづくりを実現するほか、枚方市駅では、「ステーションヒル枚方」を起点に、引き続き駅周辺の魅力・価値向上に取り組むとともに、地域の特色を活かしたまちづくりを実現いたします。

## (2) 「体験価値共創」

京都観光ゴールデンルート（洛北～東山～伏見・宇治）を中心に価値ある資源を発掘し、磨き上げ、エリアの魅力あふれる体験コンテンツを地域と共創し、これらを活用した「観光まちづくり」「テーマツーリズムの提供・発信」により、持続可能な観光の推進と国内外からの来訪者・リピーターの増加を図ります。

重点施策として、「新たな観光拠点の開発、テーマツーリズムの造成による京都観光ゴールデンルート（洛北～東山～伏見・宇治）の確立、および京都と大阪をつなぐ観光コンテンツの創造」を掲げ、京都駅東南部エリアにおける複合文化施設の設置・運営プロジェクトの推進や、京都および周辺エリアにおけるストーリー性の高い観光体験の地域との共創、また、びわ湖から京都、淀川を経て大阪湾に至る「水的路」での舟運など、京都と大阪をつなぐ観光コンテンツの創造に取り組んでまいります。

## (3) 「地球環境保全」

CO<sub>2</sub>排出量削減目標の達成に向け、省エネルギー対策の徹底や新技術の導入によるエネルギー使用量の削減を着実に進めるとともに、太陽光発電などによる創エネルギーの推進や再生可能エネルギーの調達を検討するほか、脱炭素社会で選ばれる商品・サービスの開発にも取り組みます。

重点施策として、当社グループの気候変動対応アクションプランである「BIOSTYLE環境アクション2030」に基づき、省エネルギー鉄道車両や電気バスの導入を推進するほか、グループ保有施設への太陽光発電設備などの設置に取り組んでまいります。

## 3. 各事業戦略

### (1) 運輸業

当社グループの存立の基盤である「安全安心」への取組みをさらに強化するとともに、新たな需要創造とオペレーションの最適化を推進し、強固な事業構造を構築します。

(2) 不動産業

快適で安心なまちづくり・すまいづくりを推進するとともに、顧客ニーズに応える新たな商品・サービスの提供や、展開エリアの拡大およびアセットタイプの拡充を図り、グループの成長を牽引します。

(3) 流通業

多様化するライフスタイルに合わせて沿線商業を進化・発展させるとともに、主軸戦略に寄与する商業コンテンツの供給や観光商業の確立により、収益拡大を図ります。

(4) レジャー・サービス業

国内・インバウンド需要の取り込みに向けて、価値ある顧客体験の提供を通じたブランディングの強化、既存ホテルのリニューアルによる高付加価値化を推進し、競争力強化を図ります。

(5) その他の事業

サステナブルな体験を提供する複合型商業施設「GOOD NATURE STATION」と商品ブランド「NEMOHAMO」「RAU」「Sachi Takagi」「GOOD NATURE MARKET」の認知度向上、販路拡大を図りながら、継続した新商品開発および店舗新規出店に取り組み、収益基盤を確立します。

4. 経営基盤強化

(1) DX～デジタル・トランスフォーメーション～

当社グループの各事業においてデジタル技術を活用して、体験価値の創出ならびにグループ経営管理の高度化に取り組み、急激に進展するデジタル社会においても確かな価値を提供できる企業グループへと進化を図ります。

(2) 人財戦略

持続的な企業価値向上に向けて、新たな価値を創造し続けるため、多様な人財一人ひとりが持つ能力・パフォーマンスを最大限引き出すとともに、挑戦と変革を生む風土改革を推進することで、従業員が「BIOSTYLEなマインド」で、いきいきと活躍する環境を整備します。

## 京阪グループも盛り上げています！大阪・関西万博

京阪グループでは、2025年大阪・関西万博の開催準備段階から開催期間中にかけて、さまざまな場面で盛り上げる一員として参加しています。また、万博に会場された方に、中之島エリアをはじめとする京阪沿線に足を運んでいただけるよう、アクセス強化を進めています。

### ◆会場内のフードコートにて「食の商店 もより市」が臨時出店

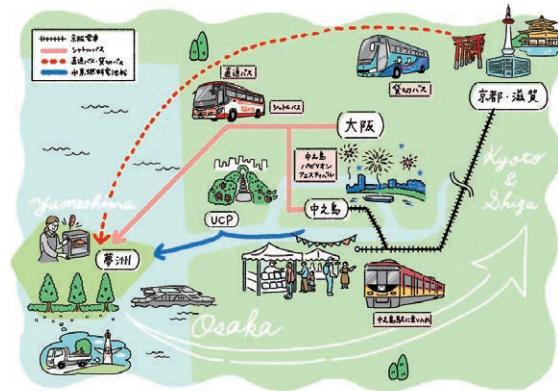
(株)京阪ザ・ストアは、会場内の「サステナブルフードコート」のイベントブースにて、4月13日～30日の期間限定で「食の商店 もより市」を出店しました。「大阪の老舗・伝統・ほんまもののグルメを一堂に集結」をテーマとした本ブースにおいて、京阪電車京橋駅ホームで1日約800本を売り上げる「京橋名物フランクフルト」や、同社オリジナルの「肉焼売」を販売。国内外からの来場者に沿線グルメを提供し、もより市や沿線の魅力を伝え、万博の盛り上がりにも貢献するとともに、京阪グループのPRにつなげました。



京橋名物フランクフルト



オリジナル肉焼売



### ◆京阪沿線と万博会場間のアクセスを強化

京阪電気鉄道(株)は、万博開催期間中に臨時列車として中之島駅発着の「特急」「快速急行」を運行しています。京阪バス(株)が運行する会場へのシャトルバス（事前予約制）が発着する中之島駅の利便性向上を図るとともに、万博来場者を京阪沿線に誘客できるよう、便利でお得な企画乗車券の発売や、ラッピング電車、バスを運行するなど、京阪グループをあげて取り組みを進めています。

### ◆「静けさの森」への樹木の搬送、大屋根リングへの草花の搬入を受託

京阪園芸(株)は、会場中心部に位置する憩いの場「静けさの森」の造営において、万博記念公園をはじめとする大阪府内の公園等から樹木を調達・運搬する業務を受託しました。

「静けさの森」は、間伐される予定だった樹木を「いのちをつなぐ」趣旨で再利用し、購入樹木のみでつくるよりも自然な森を形成することを目指した事業です。樹木を搬送する際は、根が傷つかないように樹木を掘り取ったり、ほぼ剪定せず搬入したりすることで、自然な環境で育った樹木で森を形成できるよう工夫しました。

その他シグネチャーパビリオン「いのちの遊び場 クラゲ館」の芝生を含めた外構緑化工事や、大阪・関西万博のシンボルである「大屋根リング」に使用する草花（約65万株）を全国から搬入する業務も受託しました。



## 嵐電 新型車両「KYOTRAM」(きょうとらむ)がデビュー

京福電気鉄道(株)は、嵐電(京福電気鉄道嵐山線)に新型車両「KYOTRAM」を導入し、2月28日に営業運転を開始しました。

「KYOTRAM」は、「京都を走るトラム(路面電車)」という意味で、運転保安度の向上やバリアフリー対応、多言語対応などはもちろん、出入口ドアの両引戸化による出入口幅の拡大やバケットシート採用などにより、使いやすさと快適性を向上させるとともに、VVVFインバータ制御と回生ブレーキの導入による消費電力量削減などを実現した、「人と地球にやさしい路面電車」です。車体は、先頭部に伝統的なラウンドフォルムを採用し、ボディは嵐電の象徴である京紫にホワイトとブラック・グレーの配色とシルバーの腰帯を組み合わせることで、「まち」の景観に馴染みつつも、日常に華やかな彩りを与えるデザインとしました。

「KYOTRAM」は、日常ご利用の方々、国内や世界中から京都にお越しになる方々に安全・快適で心に残る旅を提供していきます。



KYOTRAM(きょうとらむ)



披露式典の様子

## ゼロホーム枚方展示場オープン

(株)ゼロ・コーポレーションは京阪沿線2カ所目となる展示場「ゼロホーム枚方展示場」を昨年10月にオープンしました。高性能住宅の最新モデルハウス「BASE3 next」と、同社が展開する「まちもくプロジェクト※」の第1号木造ビル「まちもくビル」の2棟を配し、木造建築の可能性を広げるさまざまなアイデアを提案しています。京阪グループの中核である枚方エリアで、非住宅の木質化という新しいまちづくりに取り組み、「沿線再耕」の推進に寄与することを目指します。

※まちもくプロジェクト…

非住宅も当たり前前に木造が選択肢となる社会を目指す、都市空間の木質化をベースとした新しいまちづくりプロジェクト



ゼロホーム枚方展示場

## 交流を促進し、アイデアが生まれる オフィス環境を整備

京阪ホールディングス(株)と京阪電気鉄道(株)では、それぞれの本社にコミュニケーションスペースを設置することで、社員の交流を促進し、新たなアイデアを生み出すオフィス環境の整備を進めています。



京阪ホールディングス(株)本社



京阪電気鉄道(株)本社

# 株主優待のご案内

2025年9月期（2025年11月発送分）まで

## 株主優待乗車券および株主優待乗車証

ご所有株式数	乗車券または乗車証の種類	枚数	乗車券を選択された株主様	枚数
200株以上 4,000株未満	京阪電車全線 通用乗車券 (きっぷ)	200株 につき3枚		
4,000株以上 6,800株未満		60枚		
6,800株以上 9,600株未満	京阪電車全線 通用乗車証 (定期券型式)	1枚	京阪電車全線 通用乗車券 (きっぷ) <b>変更可</b>	90枚
9,600株以上 20,000株未満	京阪電車全線・ 京阪バス線 通用乗車証 (定期券型式)	1枚		120枚
20,000株以上 60,000株未満		2枚		240枚
60,000株以上 100,000株未満		3枚		360枚
100,000株以上 200,000株未満		5枚		600枚
200,000株以上		10枚		1,200枚

京阪電車の「プレミアムカー」をご利用の場合は、別途プレミアムカー券を、「ライナー」列車をご利用の場合は、別途ライナー券をお買い求め下さい。

**株主優待乗車証・優待乗車券選択方式のご案内**  
株主優待乗車証発行対象(6,800株以上ご所有)の株主様が、株主優待乗車券を希望される場合は、株主優待乗車証に替えて株主優待乗車券を発行します。

### 乗車券への変更方法

株主優待種別変更申込書を、変更を希望する優待の基準日(3月31日、9月30日)の1カ月前までに当社に到着するようご送付下さい。申込書の入手は、当社ホームページよりダウンロードされるか、または当社株式担当へお問い合わせ下さい。

株主優待種別変更申込書に  
必要事項を記入のうえ郵送

乗車券(きっぷ)への変更を登録

(申込書到着日と優待変更時期)

2月末日までに到着→6月下旬送付分より変更  
8月末日までに到着→11月下旬送付分より変更

継続して乗車券をご送付

乗車券に変更された後、乗車証に戻される場合も同様の手続きです。

## 京阪グループ諸施設株主ご優待

200株以上ご所有の株主様は、京阪グループの諸施設をご優待価格でご利用いただけます。

### ① 京阪グループ株主ご優待カード (何度でも利用可)

<b>京阪グループホテル</b> 宿泊1,000円割引	<b>GOOD NATURE STATION</b> 宿泊・オリジナル商品レストラン割引
<b>ホテル内レストラン</b> 飲食料金10%または20%割引	<b>京阪園芸</b> お買物10%割引
<b>大阪水上バス アクアライナー サンタマリア</b> 乗船料金20%割引	<b>琵琶湖汽船 ミシガングループ 竹生島グループ</b> 乗船料金割引
<b>比叡山坂本ケーブル</b> 運賃20%割引	<b>比叡山ドライブウェイ 魁北ドライブウェイ</b> 通行料金割引

### ② 京阪グループ諸施設 ご優待割引券(クーポン)

<b>ひらかたパーク</b> アトラクションフリーパス割引券2枚	<b>京阪百貨店</b> お買物10%または5%割引券20枚
<b>パナソニック(天満橋駅)</b> 飲食10%割引券5枚	<b>ピオ・マルシェの宅配</b> 初回年会費無料および4,000円分クーポン贈呈
<b>くずはゴルフリンクス</b> プレー料金500円割引券2枚	

## ひらかたパークご招待



200株以上ご所有の株主様に、ひらかたパーク招待券2名分(入園券2枚<ザ・ブーンまたはウインターカーニバル入場券付>、招待用乗車券4枚)を贈呈します。

## 発送時期(年2回)および有効期間

対象	3月31日現在の株主様	9月30日現在の株主様
発送時期	6月下旬	11月下旬
乗車券・ひらかたパークご招待券・諸施設株主ご優待の有効期間	ご到着日～1月10日	ご到着日～7月10日
乗車証の有効期間	7月11日～1月10日	1月11日～7月10日

株主優待制度の詳細やお問い合わせ先は当社ホームページを、諸施設の情報(営業日・営業時間等)は各施設ホームページをご確認下さい。

# 株主優待制度変更に関するお知らせ

2026年3月期（2026年6月発送予定分）から株主優待制度を変更します。

## ①株主優待贈呈の対象

1年以上継続<sup>※1</sup>して300株以上保有いただいた株主様

※3月末日、9月末日現在の当社株主名簿に同一株主番号で3回以上連続して保有が確認されること。

例：2026年6月発送優待の場合

基準日	2025年3月末	2025年9月末	2026年3月末
株主名簿記録回数	1回	2回	3回

## ②主な変更点

- ・「プレミアムカー」乗車に必要なプレミアムカー券と引換えできる「プレミアムカー券引換券」を贈呈します。
- ・保有株式数による優待乗車券（証）の贈呈枚数を見直します。
- ・乗車券（証）は、電子QRコード方式<sup>※</sup>を選択できます。  
※大津線（京津線・石山坂本線）は利用できません。
- ・京阪グループ諸施設株主ご優待（割引券）の対象施設を見直します。
- ・3年以上継続<sup>※1</sup>して300株以上保有いただいた3月末日現在の株主様にGOOD NATURE STATION、ホテル、飲食店舗など沿線内外の京阪グループ施設の利用券（年1回発行）を贈呈します。  
※3月末日、9月末日現在の当社株主名簿に同一株主番号で7回以上連続して保有が確認されること。

## ③変更後の株主優待内容

継続保有期間	1年					3年
	保有株式数 （※1）	乗車券または乗車証の種類 （電子QRコード方式を選択可）	枚数 （年間） （※2）	乗車券を選択 された場合の 乗車券枚数（※2）	プレミアムカー券 引換券（年間） （※2）	
300株以上	京阪電車線通用 乗車券（きっぷ）	20枚	8枚	4枚	ひらかたパーク 入園券 4枚  京阪グループ 諸施設ご優待 （割引券） 2部	3,000円
600株以上		26枚		6枚		4,000円
1,000株以上		38枚		8枚		5,000円
2,000株以上		68枚				
3,000株以上		98枚				
4,000株以上		128枚				
6,800株以上	京阪電車線通用 乗車証（定期券型式）	2枚	変更可	188枚	京阪グループ 諸施設ご優待 （割引券） 2部	5,000円
9,600株以上	京阪電車線・京阪バス線通用 乗車証（定期券型式）	2枚	変更可	248枚		
20,000株以上	京阪電車線・京阪バス線通用 乗車証（定期券型式）	4枚	変更可	488枚		

（※1）継続保有期間内で最も少ない株式数を適用して、贈呈枚数を計算します。

（※2）3月末日、9月末日現在の株主様に、記載枚数（部数）の半数をそれぞれ贈呈します（通用期間は半年間です）。

（※3）3月末日現在の株主様に贈呈します。

【QRコード】は㈱デンソーウェアの登録商標です。

## 株主メモ

■事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

■定時株主総会 6月

■基準日 定時株主総会：3月31日

期末配当：3月31日

中間配当：9月30日（行う場合）

■公告方法 電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

■公告掲載URL <https://www.keihan.co.jp/corporate/ir/koukoku.html>

■株主名簿管理人・特別口座管理機関

三井住友信託銀行(株)

連絡先：フリーダイヤル **0120-782-031**

午前9時～午後5時（土・日・休日を除く）

郵送先：〒168-0063

東京都杉並区和泉2丁目8番4号  
三井住友信託銀行(株) 証券代行部

☞株式に関するお手続き・よくあるご質問はこちら▶

<https://www.smbt.jp/personal/procedure/agency/>

取次事務は三井住友信託銀行(株)の本店および全国各支店で行っております。

